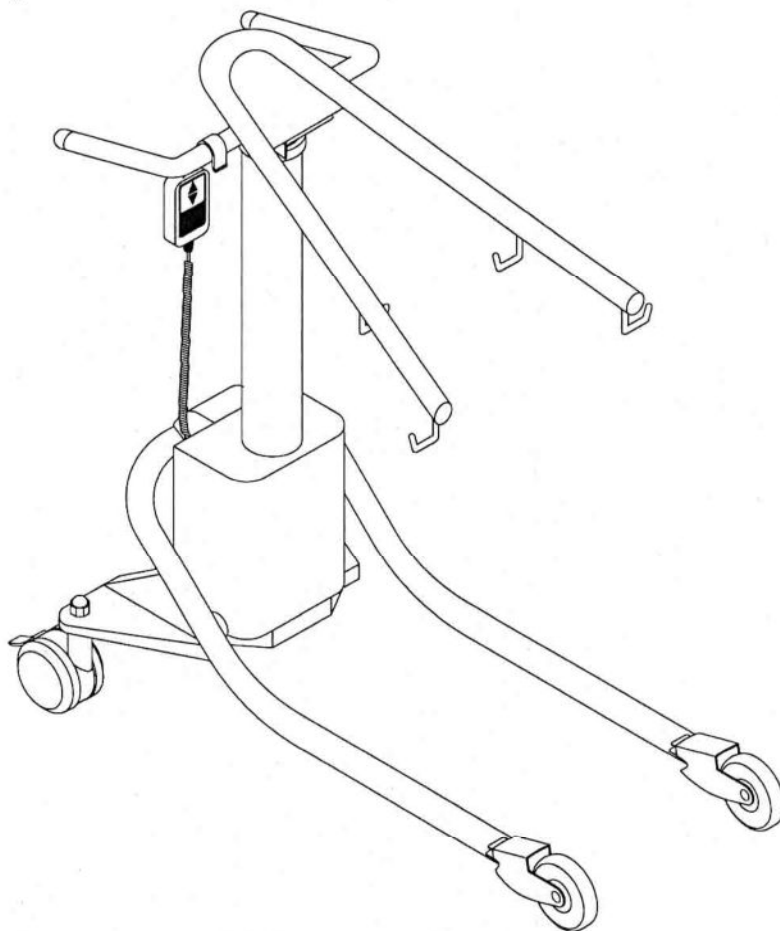


自動車への移乗もできる、折畳み式ミニリフト

Bolante

A-7570 取扱説明書

この度はボランテをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。正しくお使いいただくために、ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」を良くお読みになって下さい。また、読み終わった後も大切に保管して下さい。



もくじ

使用目的／特長	P 1
安全に使用するための注意事項	P 1～P 5
各部の名称・仕様	P 6
梱包部品／セット・折畳の仕方	P 7～P 8
手元スイッチの操作法	P 8
シートの使い方	P 9
充電の仕方・お手入れの仕方	P 10

■使用目的

床走行式電動介護リフトは、ベッドに寝ている方を車イスやイスに移動したい時、車イスからトイレ（ポータブルトイレ）やベッドに移したいときなど、様々な移乗動作を介助するための福祉用具です

床走行式電動介護リフトを使用することによって、介護をする方の移乗介護の労力が軽減されます。それによって、車イスやトイレなどへの移乗の機会を増やし、より活動的な生活の実現を目的としています。

床走行式電動介護リフトのご使用にあたって

- この取扱説明書や本体に貼られたラベルの内容が十分に理解でき、各部の操作や介護動作が出来る人がお使い下さい
- 介護を受ける方の症状、介護する方の体力や機器への適応能力などを、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談して下さい
- 部屋の床・ベッド・車イスなど、使用環境を良く確認し、環境に適した使用方法でご使用下さい

■特長

- 手元スイッチの操作だけで、ブームの上下ができ、微調整も容易
- 充電式ですから、電源の無い場所でも使用できます
- 組立・分解が可能です。更に、コンパクト設計ですから、長期保管時の収納も省スペースで行なえます
- 充電状態やバッテリー残量は、コントロールパネルのランプで表示されます

■安全に使用するための注意事項

※必ず御使用前にこの「安全に使用するための注意事項」を良くお読みいただき、正しくお使い下さい

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取扱をすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、生命にかかわるけがを負う可能性が想定される内容を示しています



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人がけがを負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています

○取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでもみられる所に必ず保管して下さい



警告

■取扱説明書や本体ラベルに書かれた内容が理解できない人には、使用させないで下さい

取扱説明書や本体ラベルに書かれた内容が理解できない人(楊枝や痴呆症の方等)には、この製品で吊上げや移動を絶対にさせないでください。転倒による事故や手や指を挟む事故を起こす恐れがあります。

■子供のいたずらに注意して下さい

小さいお子様には触らせないで下さい。また、思わぬいたずらに十分注意して下さい。転倒によるケガや故障の原因になります。

■ベッドを上げたり、ブームを下げるときは、挟まれないように注意して下さい

介護リフトを手前に引いたとき、ベースフレームと床の間に足を挟まれたり、キャスターに足を踏まれたりしない様に、十分注意して下さい。けがをする恐れがあります。靴を履かないで操作するときは、特に注意して下さい。

■アームが介護を受ける方の顔に当たらないように注意して下さい

アームは介護を受ける方の近くにあります。吊り具を装着するときやブームを上下するときは、アームが介護を受ける方の顔に当たらないように、十分注意して下さい。けがをする恐れがあります。

■移動するときは、足元に注意して下さい

ベッドを上げるとき、ブームを下げるときは、ベッドとブームの間に挟まれる恐れがありますので、十分注意して下さい。けがをする恐れがあります。



警告

■120kgを超える人を吊下げないで下さい

この製品の耐荷重は120kgです。重さが120kgを超える人は、絶対に吊下げないで下さい。落下によるけが、変形、故障の原因になります。

■介護を受けるほうの症状に合わせて、慎重に使用して下さい

- 介護を受ける方の症状によっては、介護リフトの操作が症状を悪化させる可能性があります。介護リフトのご使用に際しては、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談して下さい。
- 関節などに痛みを生じやすい方、じょくそうのできやすい方などを、初めて吊上げるときは、慎重に操作して下さい。

■人を吊下げた状態で、長い距離を移動しないでください

介護を受ける方を吊下げた状態で、長い距離を移動しないで下さい。この製品は、移乗を介助する機器であり、長い距離の移動には、必ず車イスをご使用下さい。

■人を吊下げての移動は、正しい方法で、慎重に行なって下さい

介護を受ける方を吊下げた状態で、段差の乗越えをしないでください。転倒してけがをする恐れがあります。

■可動部の隙間に、手や指を挟まないように注意して下さい

可動部の隙間に手や指を挟まないように注意して下さい。けがをするおそれがあります。



警告

■スリングシートのループは、ハンガーに確実にかけて下さい

スリングシートを装着したときは、スリングシートのループがアームのフックに、確実にかかっていることを確認してから、ブームを上げて下さい。ループが外れた状態でアームを上げると、介護を受ける方に苦痛を与えるばかりでなく、スリングシートから落下して、けがをする恐れがあります

■介護リフトを使用後、スリングシートが当たっていた所の皮膚に変化が無いか確認して下さい

スリングシートを装着したときは、スリングシートのループがハンガーのフックに確実にかかっていることを確認してから、ブームを上げて下さい。ループが外れた状態でブームを上げると、介護を受けるほうに苦痛を与えるばかりでなく、スリングシートから落下して、けがをする恐れがあります。

■折畳ダブルロックは確実に固定して下さい。

使用するときには折畳ダブルロックが確実にロックされているか確認して下さい。転倒による事故の原因になり、大変危険です。

■手元スイッチの操作は、必ず介護者が行なって下さい

手元スイッチの操作を、介護を受ける方がしないで下さい。事故の原因になります。

■介護リフトを折りたたんだ状態で、手元スイッチの操作を絶対にしないで下さい。

介護リフトを折りたたんだ状態で、手元スイッチの操作を絶対にしないで下さい。破損のおそれがあります。



注意

■湿気の著しい場所では使用しないで下さい

- 介護リフトは、湿気の著しい場所で使用したり、保管したりしないで下さい。漏電や故障の原因になります。
- 本体に水などの液体をかけないで下さい。ショートや感電の原因になります。

■手元スイッチの取扱に注意して下さい

- 手元スイッチを落としたり、コードを強く引張ったり、挟んだりしないで下さい。ショートして感電する恐れがあります。
- 手元スイッチのフックをリフト本体にかけた状態で、無理に引張ったり、曲げたりしないで下さい。破損の原因になります。

■製品の分解や改造はしないで下さい

修理技術者以外の方は、手元スイッチやコントロールボックスなどを分解したり、修理や改造は絶対にしないで下さい。移乗動作して、けがをする恐れがあります。

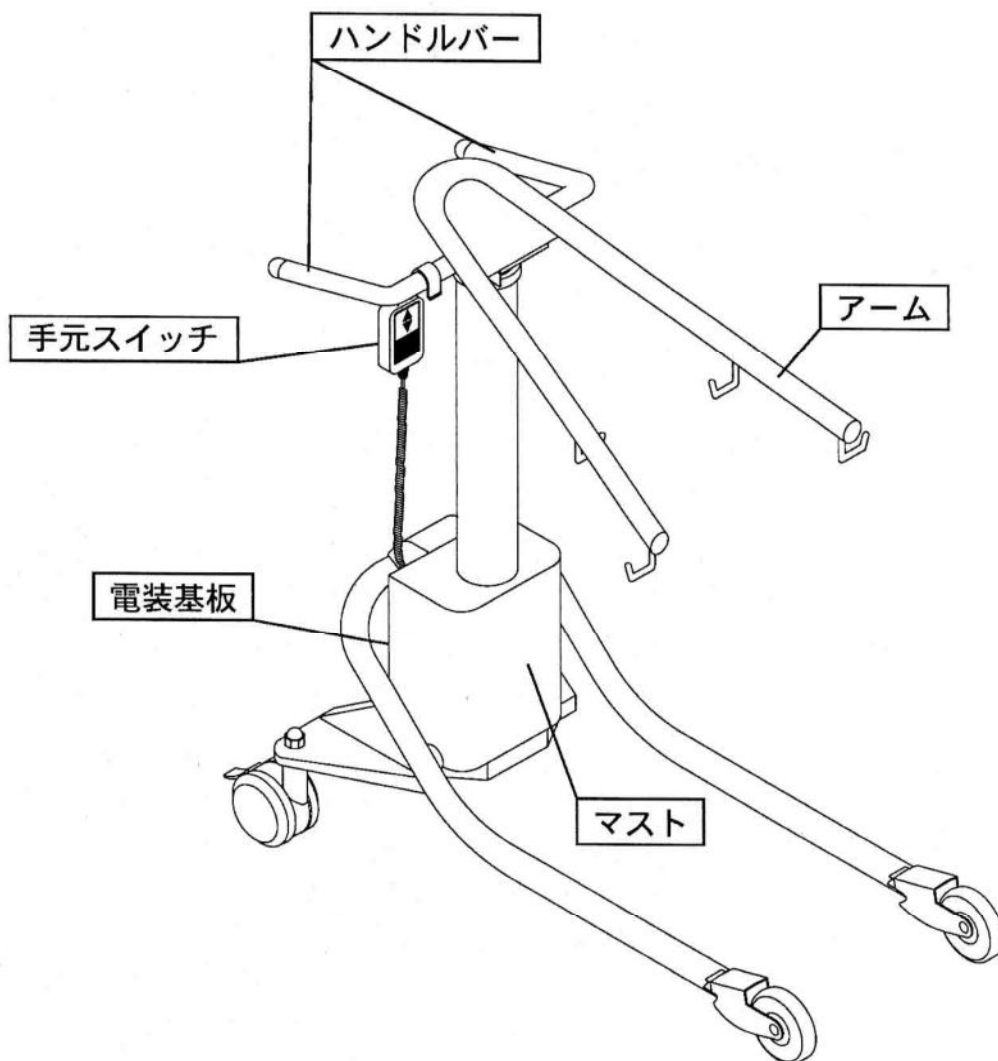
■故障や破損をした時は、使用を中止して下さい

使用中、故障や破損をしたときは、直ちに使用を中止して、修理を依頼して下さい

■製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないで下さい

製品に貼ってあるラベルは、誤った使い方や事故を防止するものですから、絶対にはがさないで下さい。万一、ラベルがなくなったり、剥がれたときは弊社から取り寄せ、正しい位置にはって下さい。

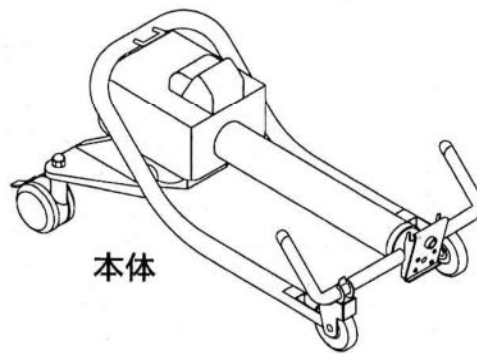
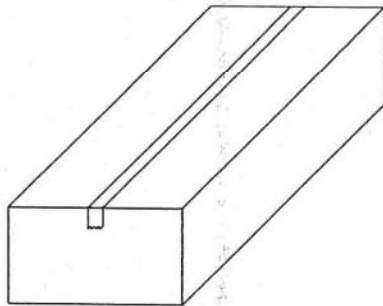
■各部の名称



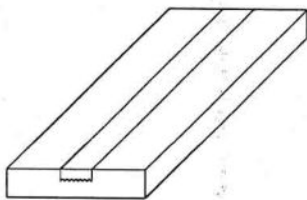
■仕様

全長	W497×H940×D970
折畳寸法	W497×H317×D970
アーム最高時高さ	1287mm
重量	本体：24kg アーム：3.5kg
耐荷重	120kg
材質	スチール・エバフレックス・ABS・ポリプロピレン
	前輪：ポリプロピレン 後輪：ウレタン
	ABS
	粉体塗装 ナイロン
梱包サイズ	アーム箱：W440×H80×D845
	本体箱：W975×H350×D600

■梱包部品



手元スイッチ

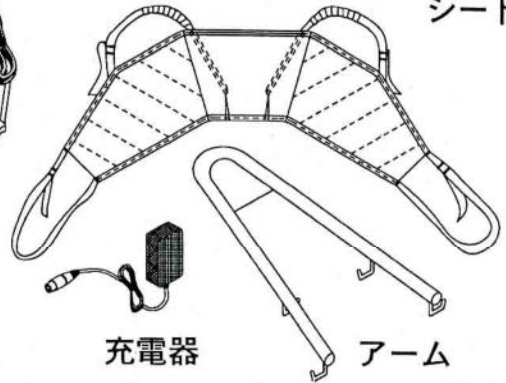


カープラグコード
コンセント



取扱説明書

シート

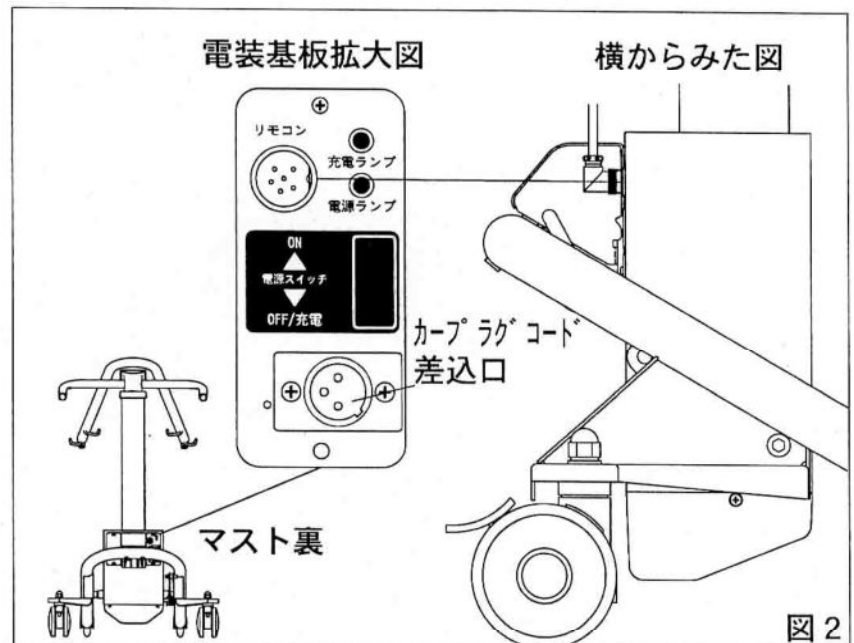
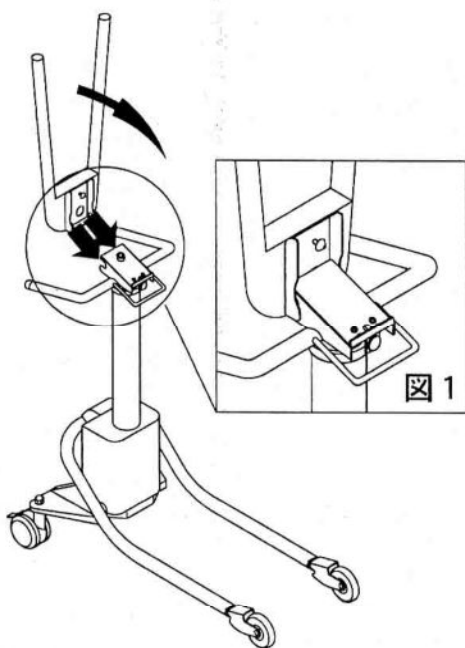


充電器

アーム

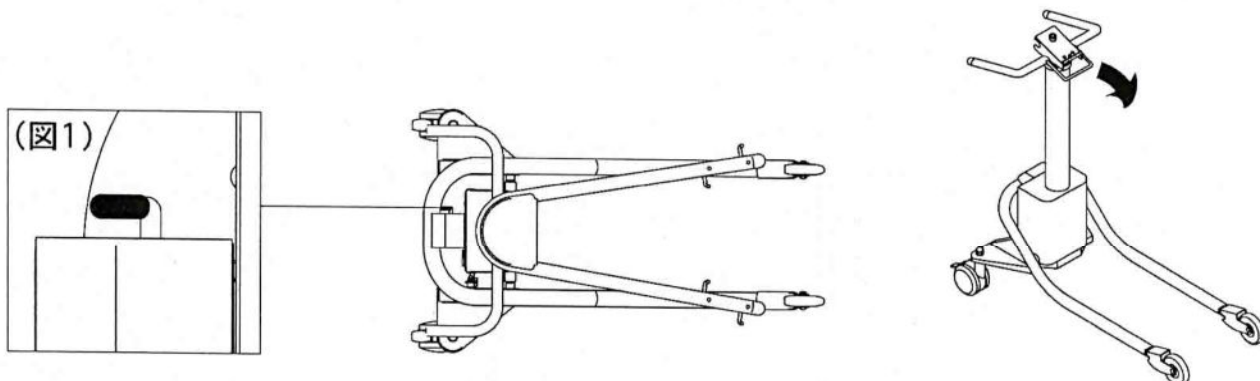
■セットの仕方

アームを縦に抱え、アーム受けの凹の部分にアーム本体裏の凸を合わせはめ込み（図1）、静かにアームを前に倒します。カチンという音がするまで倒して下さい。次にマストの裏の電装基板のリモコンの差込口にリモコンを差込、リングをよくしめて下さい（図2）。最後にスイッチをONに入れ、セットは完了です。（車で御利用の方はカープラグコードを電装基板とシガーボックスに差込み、スイッチを入れて下さい。（12V・14Vどちらでも御利用になれます）

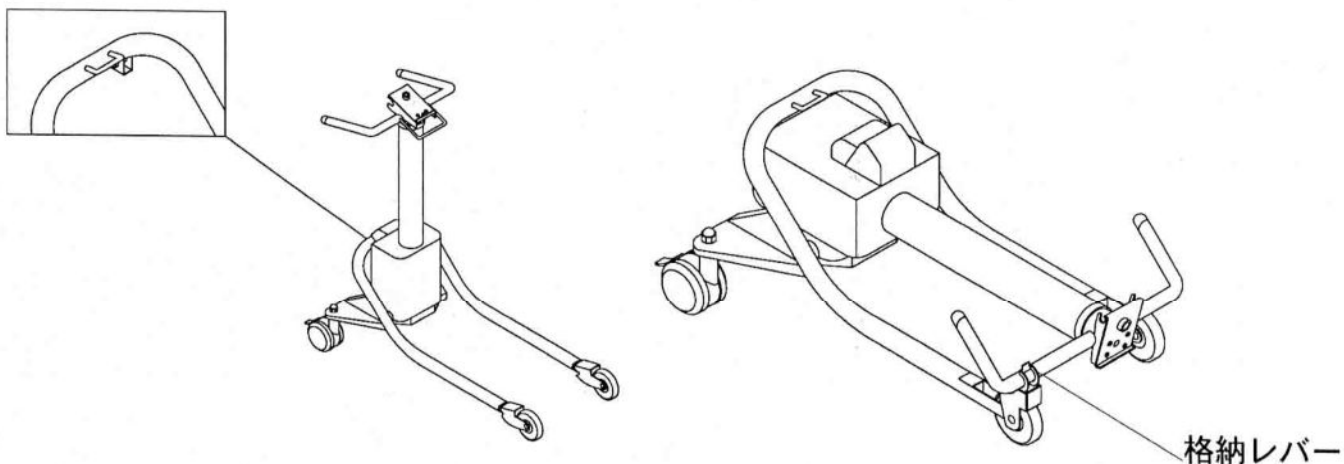


■ボランテの折畳方

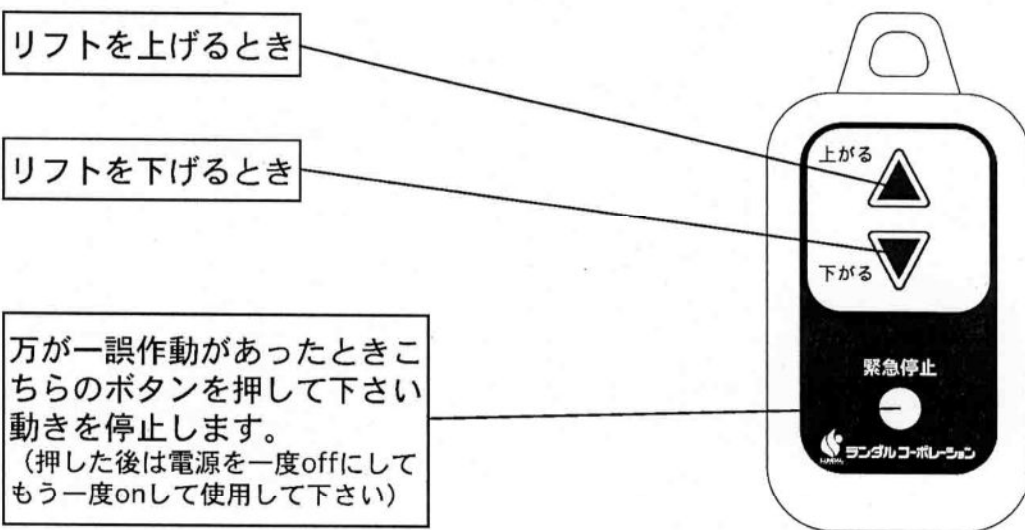
マストの裏面にあるレバー（図1）を引き、本体を手前にカタンと音がするまで倒します。



次にベースとマストの接続部分のリングを引ながら接続部を外し、ゆっくりと本体を下ろして下さい。最後に格納レバーでハンドルバーと本体を固定します。



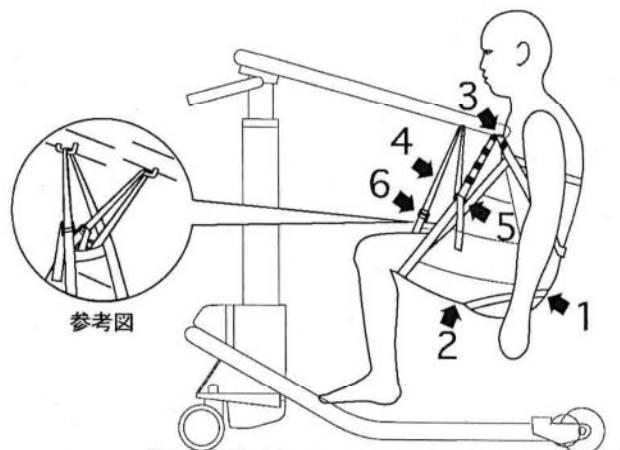
■手元スイッチの操作法



■吊り具の装着方法

＜吊り具のセット手順＞

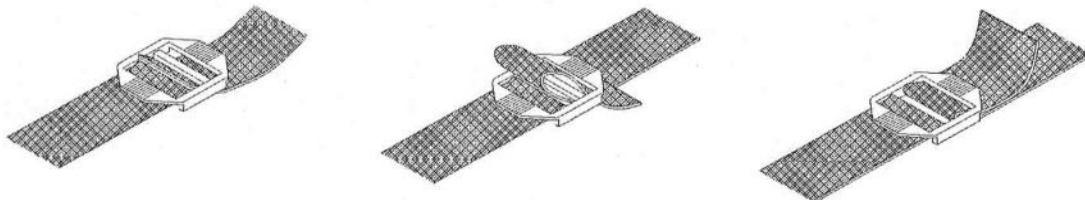
- ・座った状態で、1を尾底骨の先端まで深く差し込む
- ・腿を上げて2を腿の下に通し、前方に引く
- ・リフトを近づけ、3を胸囲に合わせて胸フックにかける
- ・4の脚ベルトをもう一方のベルトの輪にくぐらせ、脚フックにかける（参考図参照）
- ・アームを少し上げ、5の金具で胸ベルトの長さを調節する
- ・6の金具で脚ベルトの長さを調節する



■ベルトの調節

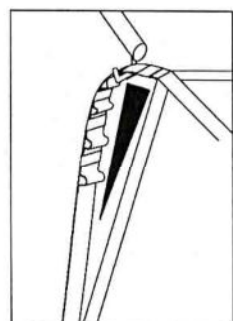
◎ベルトの通し方

この様に通さないと使用時にベルトがゆるんでしまいます。



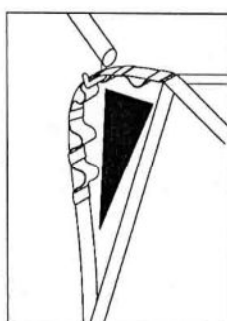
◎胸ベルトの調節

ベルトが△を保つように金具を調節します。



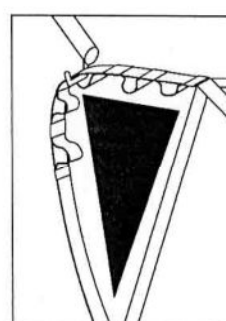
Sサイズ

ベルトは赤糸
に合わせます



Mサイズ

赤糸+1~1.5
メモリに合わ
せます

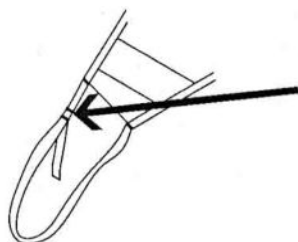


Lサイズ

赤糸+2~3メモ
リ長くします

◎脚ベルトの調節

脚ベルトは腿の太さによって個人差があるので、各サイズはあくまでも目安です。



Sサイズ：赤糸に合わせます

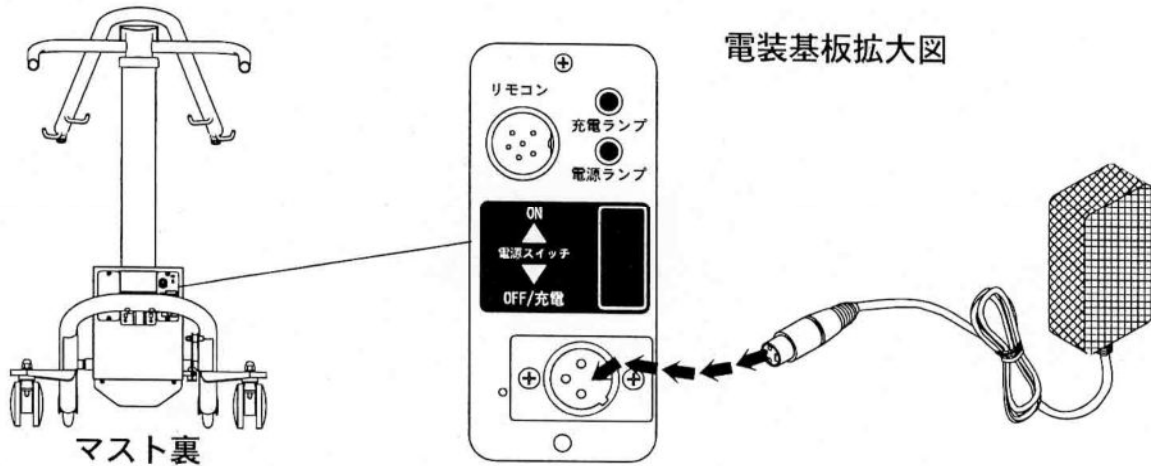
Mサイズ：赤糸+1.5~2

Lサイズ：赤糸+3~4

（輪を大きくする）

■充電の仕方

◎電源をoffにしてマストの裏の電装基板に充電器の口を差込みます。（あらかじめ充電器とプラグコードを繋げておいて下さい）プラグを差込んで充電ランプが消えたら90%充電完了です。100%充電する場合は消灯後60分は充電を続けて下さい。



電源スイッチ位置	OFF				ON				
状態	通常時	充電中	充電完了	充電エラー	通常時 (内部BATT)	通常時 (カーBATT)	電圧低下時	緊急停止	過電流検出
充電電源	無し		有り				有り/無し		
充電LED(赤)	●	○	●	☆	●	●	☆	△	△
電源LED(緑)	●	●	●	●	○	○	△	☆	☆
備考							電源電圧低下で 点滅します	点滅時は昇降動作しません 電源スイッチをON←→OFFで点滅介助	

●=消灯 ○=点灯 ☆=点滅 △=点灯消灯のどちらか

■お手入れの仕方

◎著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を浸した布をよく絞ってふき取り、柔らかい布で乾拭きして下さい。

◎シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないで下さい。変色などの原因になります。